

VICSユニット/ ビーコンスタンド

取付と接続

お買上げいただきありがとうございます。

△警告 本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

△VICS nav-u

NVA-VB8

©2009 Sony Corporation Printed in Thailand

主な特長

VICSビーコンユニットとスタンドがセットになった商品です。“nav-u”と接続することで、高速道路上に設置された電波ビーコンの情報を受信する、または主要な一般道路に設置された光ビーコンの情報を受信するVICSビーコンユニットです。

“nav-u”的対象機種については、下記のホームページやカタログをご確認ください。
<http://www.sony.co.jp/nav-u/>

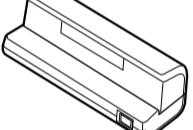
ちょっと一言

- 機能の確認は、実際に道路を走行して、電波ビーコンまたは光ビーコンを受信して行ってください。
- お使いの機種によって、クレードルやシガーエアコード、FM VICSユニットの形状は異なります。

- “nav-u”および**nav-u**は、ソニー株式会社の登録商標です。
- △VICS**は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

同梱品を確認する

VICSビーコンユニット+スタンド



VICS接続ケーブル(長)



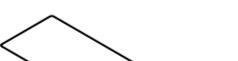
VICS接続ケーブル(短)



粘着シート



粘着シート用保護シート



取付シート



・取付と接続(本書)

・保証書

・ソニーご相談窓口のご案内

重要なご注意
本機には小さな部品などが使用されています。それらを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。

△警告 安全のために

警告表示の意味

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

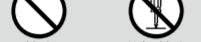
△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

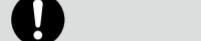
注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



△注意

△警告



下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

正しく取り付ける

本書の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

△指示



法令に従って前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視野の妨げになると、事故やけがの原因となります。

△禁止



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

△禁止



火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

△分解禁止



火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

△分解禁止



火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

取り付ける

本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けてください。特に前方視界、運転、エアバッグなどの妨げにならないようご注意ください。

△注意

本機は、ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機など強い電波を送信したり、受信したりする機器から離れた場所に取り付けてください。これらの機器の近くで本機を使うと、以下のようなことが起きる場合があります。

- ・本機が正常に動作しない。
- ・画像が乱れる。
- ・自車位置を正しく表示できない。
- ・ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機などが正常に動作しない。

FM VICSユニット(“nav-u”に付属、または別売)への取り付けかた

本機に接続できるFM VICSユニットについては、下記URLをご確認ください。

<http://www.sony.co.jp/nav-u/>

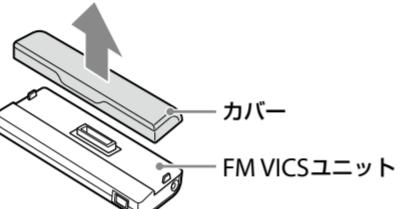
△ちょっと一言

本機のスタンドにFM VICS機能は搭載されておりません。本機のスタンドと“nav-u”に付属、または別売のFM VICSユニットを入れ替えることで、FM VICSとVICSビーコンの両方の機能をお使いいただけます。

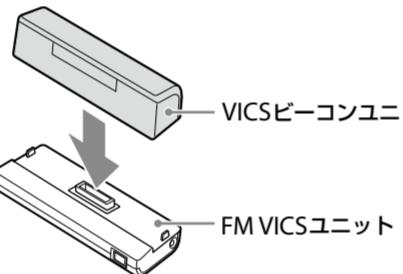
1 本機のスタンドからVICSビーコンユニットを取りはずす。

詳しくは裏面の「取りはずしかた」をご覧ください。

2 FM VICSユニット(“nav-u”に付属、または別売)のカバーを上に引っ張つてはずす。



3 VICSビーコンユニットをFM VICSユニットに取り付ける。



取り付けた後は、軽く引っ張るなどして確実に取り付けられていることを確認してください。

クレードルへの取り付けかた

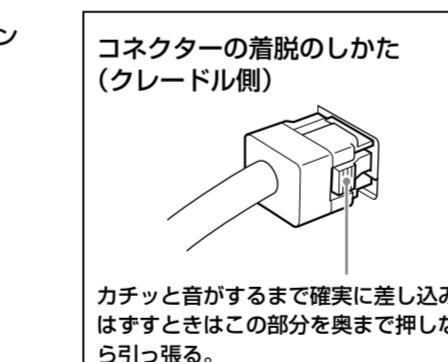
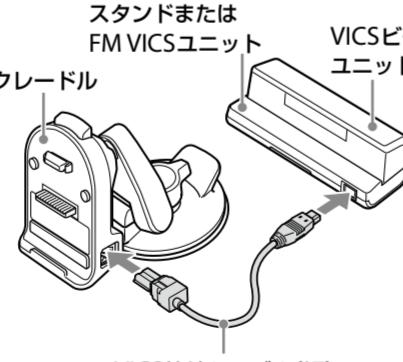
NV-U1をお持ちのかたは、裏面をごらんください。

△注意

NV-U3DV/U3V/U3/U2をお持ちのかたは、クレードルへの取り付けはできません。「ダッシュボードへの取り付けかた」をご覧ください。

1 VICS接続ケーブル(短)をクレードルとスタンドまたはFM VICSユニット(“nav-u”に付属、または別売)に接続する。

クレードルとスタンドまたはFM VICSユニットのVICS端子に確実に差し込んでください。

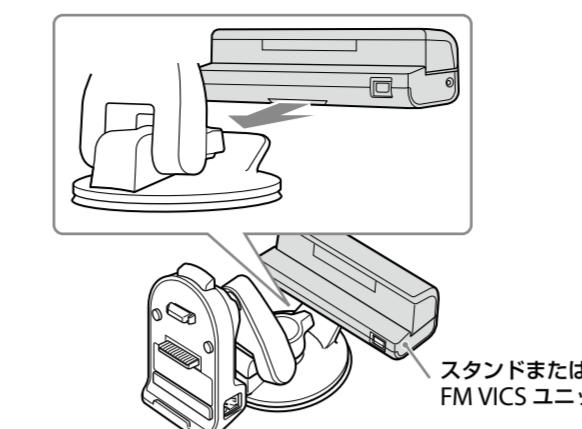


カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を奥まで押しながら引っ張る。

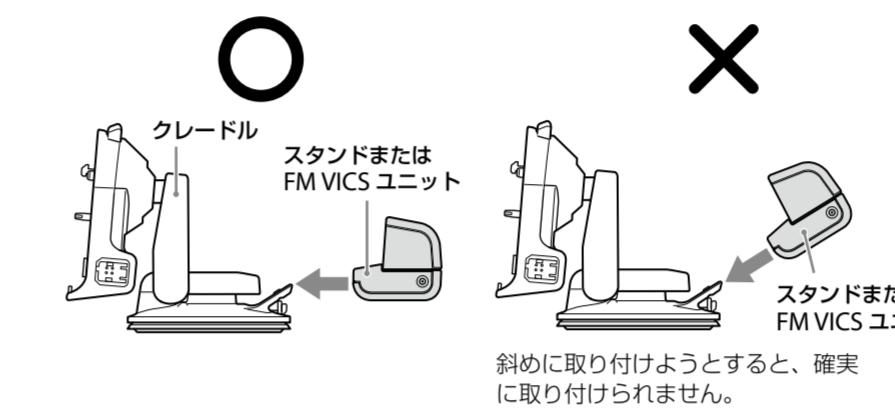
3 取り付け位置を決めて取り付ける。

フロントガラスに近い、凹凸のない、水平な場所を選んでください。

2 スタンドまたはFM VICSユニット(“nav-u”に付属、または別売)をクレードルに取り付ける。

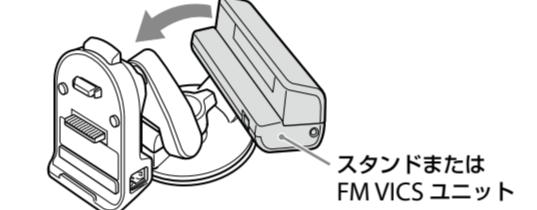


スタンドまたはFM VICSユニットは、水平方向にしっかり押し込んでください。



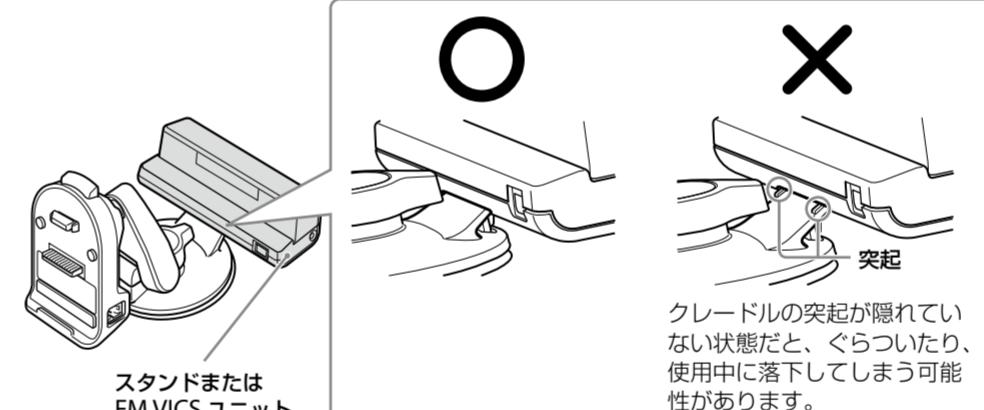
△ちょっと一言

取り付けにくい場合は水平方向に回しながら取り付けます。



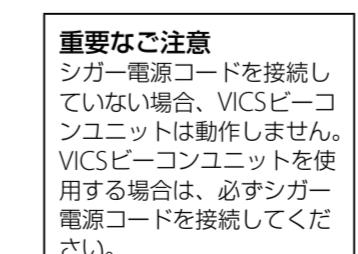
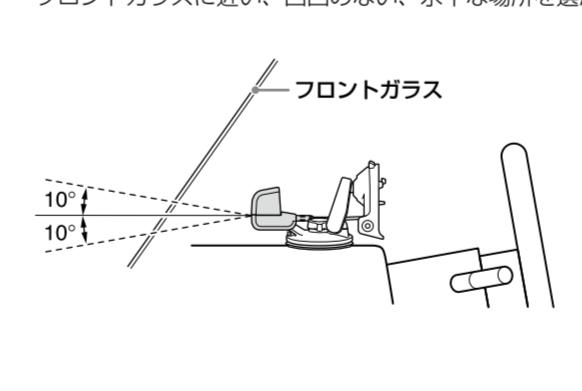
△注意

スタンドまたはFM VICSユニットをクレードルに取り付けた後は、クレードルの突起が隠れていることを確認してください。また、軽く引っ張るなどして確実に取り付けられていることを確認してください。



4 シガーエアコードを接続する。

フロントガラスに近い、凹凸のない、水平な場所を選んでください。



シガーエアコードを接続していない場合、VICSビーコンユニットは動作しません。VICSビーコンユニットを使用する場合は、必ずシガーエアコードを接続してください。

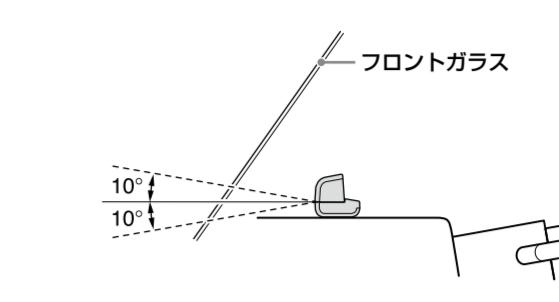
ダッシュボードへの取り付けかた

△注意

NV-U1をお持ちのかたは、ダッシュボードへの取り付けはできません。

1 取り付け位置を決める。

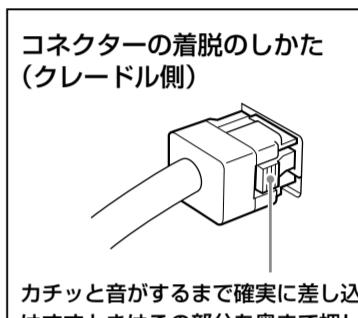
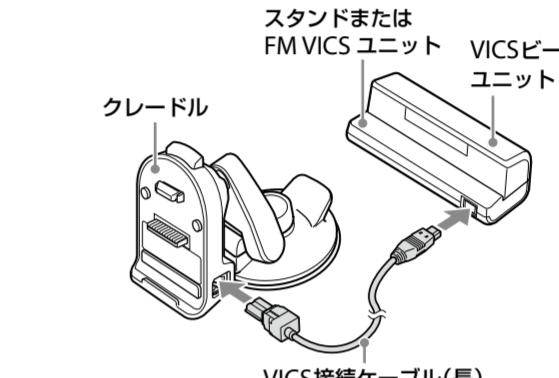
フロントガラスに近い、凹凸のない、水平な場所を選んでください。



△注意
エアバッグの動作の妨げになる場所には取り付けないでください。

2 VICS接続ケーブル(長)をクレードルとスタンドまたはFM VICSユニット(“nav-u”に付属、または別売)に接続する。

クレードルとスタンドまたはFM VICSユニットのVICS端子に確実に差し込んでください。

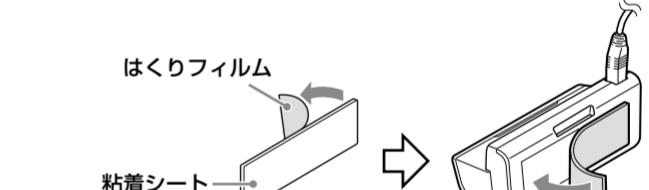


カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を奥まで押しながら引っ張る。

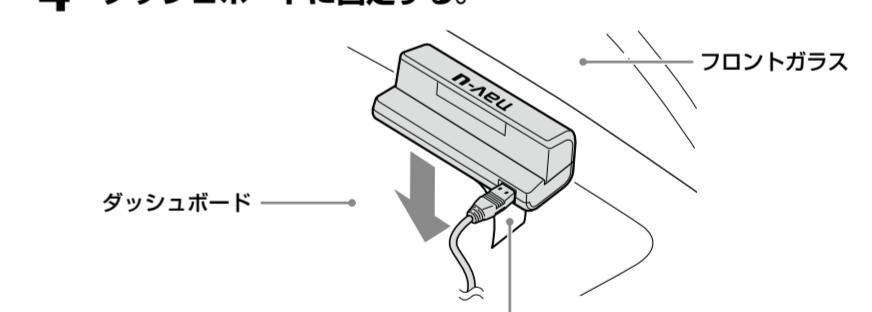
△ちょっと一言
お使いの機種によって、クレードルの形状は異なります。

3 粘着シートをスタンドまたはFM VICSユニット(“nav-u”に付属、または別売)底面に貼り付ける。

粘着シートのはくりフィルムを片側だけはがして貼り付けます。



4 ダッシュボードに固定する。



取り付け位置をきれいにしてからスタンドまたはFM VICSユニット底面の粘着シートをダッシュボードにしっかりと固定してください。

正しい向きに取り付けられていることを確認してください。正しい向きに取り付けないと、送受信できない場合があります。

取付シートについて

直射日光によりダッシュボードが非常に高温になると、粘着シートの粘着力が弱くなり、はがれる場合があります。その場合は、付属の取付シートをダッシュボードに貼り、その上にVICSビーコンユニットを固定してください。

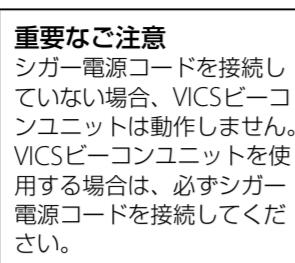
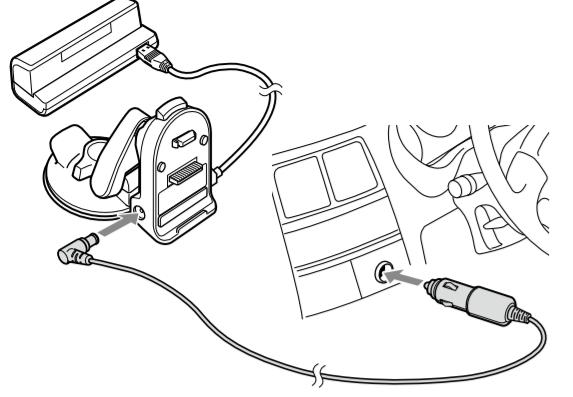
取付シート使用上のご注意

- 貼り付け位置は仮置きなどをして慎重に選んでください。取付シートは接着力が強いため、ダッシュボードに一度貼り付けると簡単にはがすことができません。無理にはがそうとすると、ダッシュボードが変形したり、破損するおそれがあります。

- 一度はがした取付シートは、接着力が弱くなっているので貼り直しきれいです。

裏面へつづく

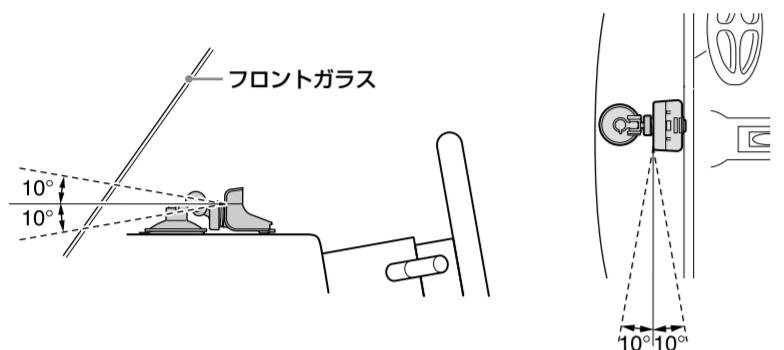
5 シガーエンジンコードを接続する。



クレードルへの取り付けかた(NV-U1)

1 取り付け位置を決める。

フロントガラスに近い、凹凸のない、水平な場所を選んでください。

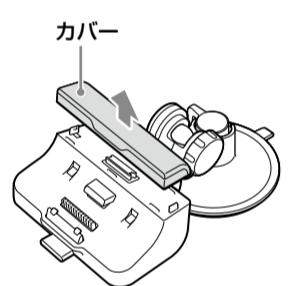


ご注意
エアバッグの動作の妨げになる場所には取り付けないでください。

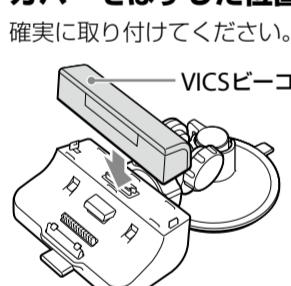
2 スタンドまたはFM VICSユニット("nav-u"に付属、または別売)からVICSユニットを取りはずす。

詳しくは「取りはずしかた」をご覧ください。

3 クレードルのカバーを上に引っ張ってはずす。

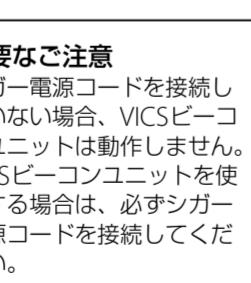
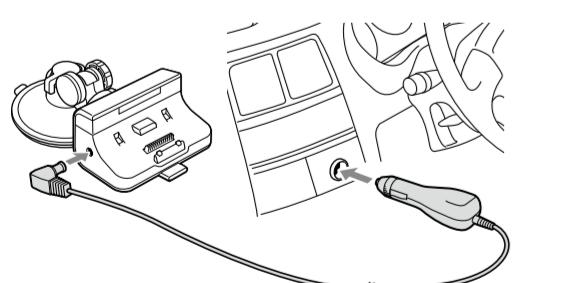


4 カバーをはずした位置にVICSビーコンユニットを取り付ける。



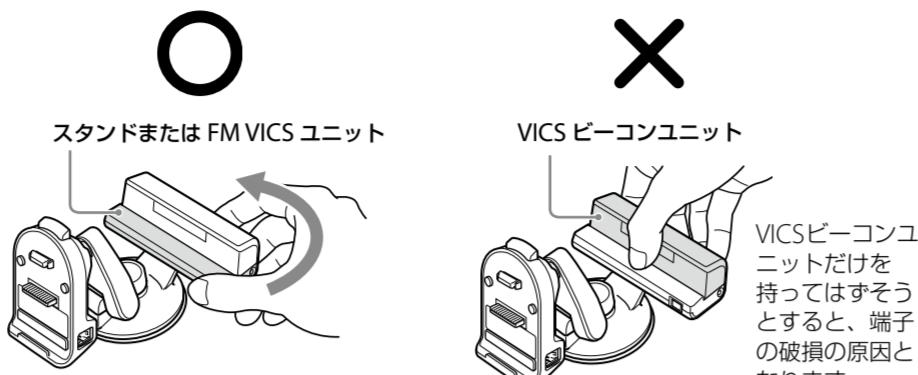
ご注意
VICSビーコンユニットを取りはずすときは、上に引っ張ってはずしてください。

5 シガーエンジンコードを接続する。



取りはずしかた

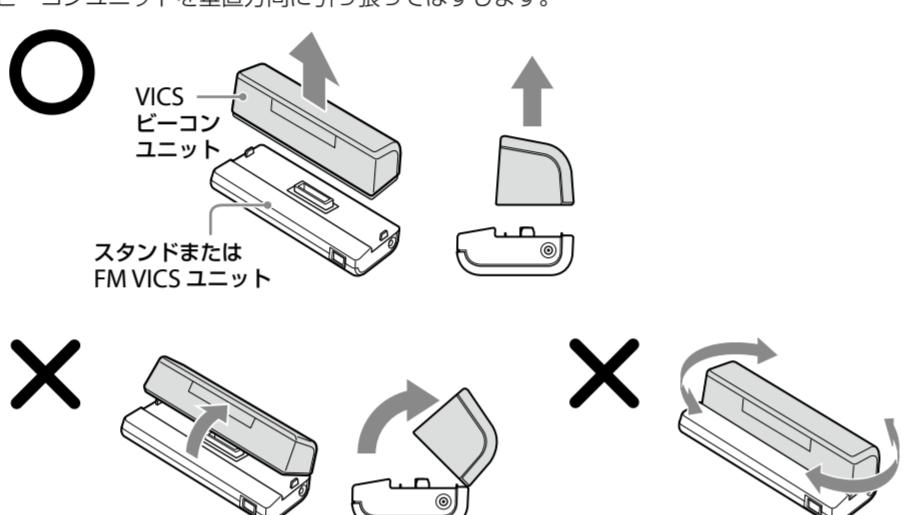
スタンドまたはFM VICSユニット("nav-u"に付属、または別売)をクレードルから取りはずす
スタンドまたはFM VICSユニットを持ち、水平方向に回しながらはずします。



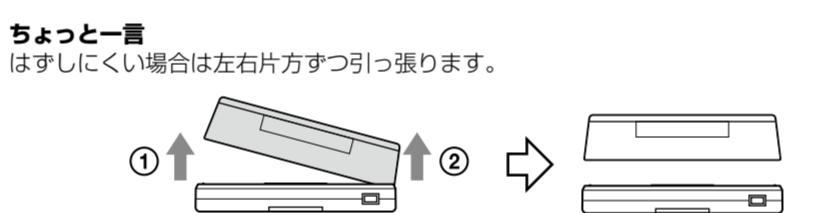
ご注意

- スタンドまたはFM VICSユニットを取り外す前に、必ずVICS接続ケーブルをはずしてください。
- クレードルをダッシュボードからはずす前に、スタンドまたはFM VICSユニットをクレードルからはずしてください。

VICSビーコンユニットをスタンドまたはFM VICSユニット("nav-u"に付属、または別売)から取りはずす
VICSビーコンユニットを垂直方向に引っ張ってはずします。



ご注意
傾けてはずすとすると、端子の破損の原因となります。
回してはずすとすると、端子の破損の原因となります。



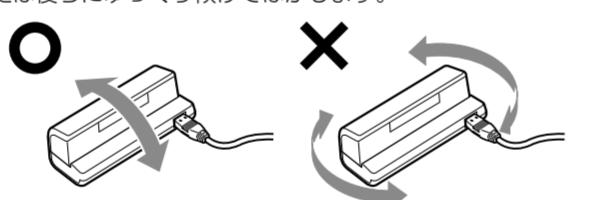
ちょっと一言

はずしにくい場合は左右片方ずつ引っ張ります。



ダッシュボードから取りはずす

前または後ろにゆっくり傾けてはがします。

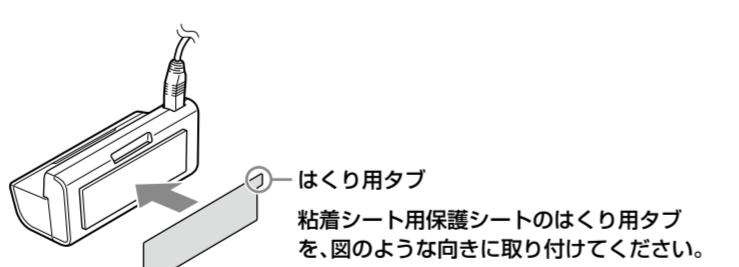


ご注意

- 水平方向に回してはがさないでください。粘着シートの粘着面を傷めて粘着力が弱くなることがあります。
- スタンドまたはFM VICSユニットをダッシュボードからはずすときには、ケーブルを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

スタンドまたはFM VICSユニット("nav-u"に付属、または別売)に粘着シート用保護シートを取り付ける

粘着力の低下を防ぐために、ダッシュボードからスタンドまたはFM VICSユニットをはずしたときは、必ず粘着シート用保護シートを取り付けます。



粘着シート用保護シートは正しい向きに取り付けてください。
間違えると、はがしにくくなったり、粘着シートの粘着面を傷めて粘着力が弱くなることがあります。

ご注意

- 粘着面が汚れた場合は、柔らかくて毛羽立たない布を湿らせ、なでるようにして、汚れを取り除いてください。
- 取り付ける前に、粘着面が乾いていることを確認してください。
- 粘着シート用保護シートを誤って飲み込まないよう、子どもの手の届く場所に置かないでください。

使用後は、直射日光の当たらない場所に保管してください。取り付けたまま放置すると、故障の原因となることがあります。

困ったときは

VICSビーコンユニットを接続したが、
VICS情報を受信しない。

- シガーエンジンコードがクレードルに確実に接続されていることを確認してください。
クレードルにシガーエンジンコードが接続されていない場合、VICSビーコンユニットに電源が供給されないため、VICSビーコンユニットの機能を使用できません。
- VICS情報は、ビーコンの下を通過したときのみ受信されます。ビーコンのない場所では、VICS情報は更新されません。
- フロントガラスが汚れている。
- VICSビーコンユニットの前に電波や光をさえぎるものがある。
- VICSビーコンユニットの設置が、本書どおりになっていない。
- ビーコンが大型車両等の陰になっている。
- トネルの中を走行している。(ビーコンが設置されていても受信できない場合があります。)
- 道幅の広い道路を走っている。

ビーコンの下を通過してもVICS情報を受信しない。渋滞情報が表示されない。

- ビーコンのメンテナンスなどにより、ビーコンの下を通過してもVICS情報を受信できないことがあります。
- 渋滞が発生していない場合、VICS情報を受信しても渋滞情報は表示されません。
- 渋滞情報の設定が「OFF」になっていると、渋滞情報を表示できません。メニューボタン→[編集・設定]タブ→[設定]→[交通情報]→[交通情報地図表示]で渋滞情報の各設定を確認してください。
- VICSビーコンユニットは、ミラーなどビーコンからの電波や光をさえぎるものからできるだけ離し、フロントガラスの近くに取り付けてください。

渋滞回避オートリルート機能、または渋滞回避リルート機能が働かない。

- 渋滞回避リルートの設定を確認してください。設定方法について詳しくは、お使いの"nav-u"に付属の「取扱説明書」または「取扱説明書 本編」をご覧ください。
- VICSビーコンユニットが正しい向きに取り付けられていることを確認してください。光ビーコンの情報を正しく送受信できないと、渋滞回避リルート機能は働きません。

緊急警報について

災害に関する緊急警報は、本来、法令に基づき、国または地方公共団体が適切な手段を選んで国民に伝達するものですが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものがこの緊急警報放送です。

NVA-VBSは緊急警報を受信することができるようになしたものですが、本機自体で災害による被害を予防したり損害を回避できるものではありません。

従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、取り扱いの誤りなどにより、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご使用ください。

主な仕様

電源電圧
消費電流
使用温度範囲
外形寸法
VICSビーコンユニット
スタンド

クレードルより供給
12V:1.3A(最大)
5°C ~ 45°C

約95×22×23mm
(幅×高さ×奥行き)

約97×15×34mm
(幅×高さ×奥行き)

質量
VICSビーコンユニット 約30g
スタンド 約22g

ケーブル長
VICS接続ケーブル(長) 約500mm
VICS接続ケーブル(短) 約85mm

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますご了承ください。

お手入れのしかた

VICSビーコンユニットの汚れを清掃するときは、やわらかい布で乾拭してください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めてから柔らかい布に含ませ、固くしぼってから拭いてください。

ベンジン・シンナー、アルコール類、ワックス、みがき粉、粉石鹼、石油、熱湯は使用しないでください。

また、接着剤、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。変色、変形するおそれがあります。

困ったときは

"nav-u"関連のホームページ(下記URL)でお調べください。
最新サポート情報や「よくあるお問い合わせ(Q&A)」などを掲載しています。
<http://www.sony.co.jp/nav-u/>

お問い合わせの前に

機種名をご確認ください。機種名は、VICSビーコンユニット底面の機銘板に記載されています。

よくあるお問い合わせ、返品・交換等について
ホームページをご利用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口
フリーダイヤル: 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話: 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル: 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話: 0466-31-2531

※取扱説明書リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(受取): 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初の「ガイダンス」が
流れている間に

「307」+「#」

を押してください。
直後に、担当窓口へ
おつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

保証書とアフターサービス

保証書

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずはチェックを
本書およびお使いの"nav-u"に付属の説明書を
もう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付のソニーご相談窓口のご案内にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

